



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月9日

上場会社名 尾家産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 尾家 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 尾家 健太郎

TEL 06-6375-0158

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	24,250	△0.3	△22	—	7	△90.3	△11	—
2019年3月期第1四半期	24,321	4.6	47	49.7	72	47.4	33	119.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	△1.25		—	
2019年3月期第1四半期	3.66		—	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
2020年3月期第1四半期	32,222		12,715	39.5			1,405.30	
2019年3月期	32,522		12,881	39.6			1,423.61	

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 12,715百万円 2019年3月期 12,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円	
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	20.00
2020年3月期	—					
2020年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	49,600	0.6	355	23.0	395	13.3	240	14.2	26.52
通期	101,500	1.4	1,015	36.3	1,075	26.7	660	25.1	72.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	9,255,000 株	2019年3月期	9,255,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	206,739 株	2019年3月期	206,739 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	9,048,261 株	2019年3月期1Q	9,048,470 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、企業収益に足踏みがみられるものの、雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外経済においては米中貿易問題の動向等、不確実性による先行きの不透明感が継続しております。また、今秋に予定されている消費税増税が消費動向にも影響を及ぼす懸念がある等、今後の経済動向には不安定な要素が多くあり、個人消費は依然として力強さに欠ける状況が続いております。

当社の主要取引先であります外食産業市場におきましては、改元の祝賀ムードの中、飲食店各社による新メニュー等の施策や、例年よりも休日数が増えたGW(ゴールデンウィーク)の影響による外食機会の増加などにより、2019年6月末時点では34カ月連続して売上は前年を上回りました。また、外食業界の重要なターゲットである訪日外国人観光客数も、台風被害により関西国際空港が閉鎖した2018年10月以降は9カ月連続で前年を超え、堅調に推移しております。一方で、GW後はその反動による節約志向、また、ビジネス街の店舗では長い休日が来店客数減の要因になるなど、一部の外食企業では苦戦を強いられました。

このような経済環境の下、当社は長期的目標であります「いい会社をつくろう」を目指し、2019年4月より、第四次3ヶ年中期経営計画「Change to the Next 新時代に向けて変革していこう」を実行しております。

初年度の当期は、基本方針として「選択と集中」「収益力の強化」「人財の育成」を掲げ、全社を挙げて計画達成に向けて取り組んでおります。

営業政策としましては、成長市場でもありますヘルスケアフード事業に重点をおき、2019年5月から6月にかけて病院・高齢者施設を対象に「やさしいメニュー」セミナー&提案会を大阪、東京、名古屋、福岡の4か所で開催し、来場いただいたお客様には高い評価を頂きました。また、既存のお客様との取組みを更に深化させ、並行して新規得意先開拓に努力しております。過去最高を継続する訪日外国人の市場にも対応するべく、宿泊業態については特にホテルの朝食向けメニューの提案を強化しております。全国の事業所においても、病院・高齢者施設向け、宿泊業態向け、そして中食業態向けと、それぞれの業態に絞った事業所プレゼンテーションを順次実施しております。

拠点政策としましては、2019年6月末現在では、全国46事業所(11支店、33営業所、サンプラザ2店(業務用食品スーパー))と前期末と同数であります。5月には、広島支店を新築移転し、労働環境の整備を図りました。より厳格な温度管理を可能にする11基のドックシェルターを備えており、安全安心な物流品質の提供を通じ、中四国エリアの中心拠点として、更に業容を拡大して参ります。

物流政策としましては、42事業所に導入が完了した「ボイスシステム(音声による入出庫作業と在庫管理)」の活用による作業効率の改善を更に進めてゆくと共に、賞味期限管理を強化する為に、出荷業務とたな卸業務への活用を進め、在庫管理のレベル向上を図っております。また、営業用自社車両全台に導入しました「無事故プログラムDR(DRIVE RECORDER)」については、安全運転意識の向上のみならず、燃費改善や保険料の割引率拡大など、経済的な効果にも繋がっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高242億50百万円(前年同期比0.3%減)、営業損失22百万円(前年同期は営業利益47百万円)、経常利益7百万円(前年同期比90.3%減)、四半期純損失11百万円(前年同期は四半期純利益33百万円)と減収減益となりました。

なお、当社は食品卸売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は322億22百万円となり、前事業年度末と比較して2億99百万円の減少となりました。

主な要因は、現金及び預金が6億24百万円、商品が1億75百万円、その他流動資産が1億11百万円、建設仮勘定が2億60百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が6億52百万円、未収入金が7億82百万円減少したことによりです。

(負債)

負債は195億7百万円となり、前事業年度末と比較して1億34百万円の減少となりました。

主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が3億36百万円、未払金が2億47百万円、その他流動負債が1億22百万円、長期借入金が5億43百万円増加したものの、買掛金が12億22百万円、未払費用が1億13百万円、賞与引当金が1億20百万円減少したことによりです。

(純資産)

純資産は127億15百万円となり、前事業年度末と比較して1億65百万円の減少となりました。

主な要因は、繰越利益剰余金が1億1百万円減少したことによりです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,267,118	1,891,925
受取手形及び売掛金	12,947,724	12,295,665
商品	2,847,509	3,023,261
未収入金	1,582,418	800,304
その他	40,894	152,359
貸倒引当金	△31,034	△29,507
流動資産合計	18,654,630	18,134,008
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,663,931	3,663,931
減価償却累計額及び減損損失累計額	△652,670	△692,305
建物(純額)	3,011,260	2,971,625
建物附属設備	5,057,984	5,219,960
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,068,508	△2,184,025
建物附属設備(純額)	2,989,476	3,035,935
構築物	248,899	249,736
減価償却累計額及び減損損失累計額	△100,361	△106,458
構築物(純額)	148,538	143,277
機械及び装置	336,849	347,349
減価償却累計額及び減損損失累計額	△156,718	△164,906
機械及び装置(純額)	180,130	182,442
車両運搬具	3,786	3,786
減価償却累計額	△3,049	△3,122
車両運搬具(純額)	737	663
工具、器具及び備品	511,078	561,012
減価償却累計額及び減損損失累計額	△314,202	△330,716
工具、器具及び備品(純額)	196,876	230,296
土地	2,361,011	2,361,011
建設仮勘定	14,040	274,680
有形固定資産合計	8,902,071	9,199,932
無形固定資産		
ソフトウェア	130,811	139,125
ソフトウェア仮勘定	—	3,825
電話加入権	26,614	26,614
無形固定資産合計	157,425	169,565
投資その他の資産		
投資有価証券	1,434,656	1,343,229
差入保証金	2,553,773	2,528,304
会員権	29,600	29,600
保険積立金	30,960	30,960
破産更生債権等	52,652	54,473
繰延税金資産	485,890	507,597
投資不動産	507,783	507,783
減価償却累計額	△221,531	△222,616
投資不動産(純額)	286,251	285,166
その他	10,540	9,439
貸倒引当金	△75,888	△69,698
投資その他の資産合計	4,808,437	4,719,073
固定資産合計	13,867,934	14,088,571
資産合計	32,522,565	32,222,580

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,453,271	13,230,594
1年内返済予定の長期借入金	372,000	708,000
リース債務	56,868	67,381
未払金	72,010	319,786
未払費用	1,409,293	1,295,936
賞与引当金	280,000	160,000
その他	22,620	145,368
流動負債合計	16,666,065	15,927,067
固定負債		
長期借入金	525,000	1,068,000
リース債務	102,971	137,041
退職給付引当金	1,436,702	1,446,733
役員退職慰労引当金	249,888	243,126
資産除去債務	602,730	628,498
その他	58,024	56,624
固定負債合計	2,975,315	3,580,023
負債合計	19,641,381	19,507,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305,700	1,305,700
資本剰余金		
資本準備金	1,233,690	1,233,690
資本剰余金合計	1,233,690	1,233,690
利益剰余金		
利益準備金	154,131	154,131
その他利益剰余金		
別途積立金	4,600,000	4,600,000
繰越利益剰余金	5,102,079	5,000,311
利益剰余金合計	9,856,210	9,754,442
自己株式	△171,717	△171,717
株主資本合計	12,223,882	12,122,114
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	657,301	593,374
評価・換算差額等合計	657,301	593,374
純資産合計	12,881,184	12,715,488
負債純資産合計	32,522,565	32,222,580

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	24,321,642	24,250,219
売上原価		
商品期首たな卸高	2,833,587	2,847,509
当期商品仕入高	20,505,791	20,528,822
合計	23,339,378	23,376,331
商品期末たな卸高	2,783,935	3,023,261
商品売上原価	20,555,443	20,353,069
売上総利益	3,766,199	3,897,150
販売費及び一般管理費	3,719,071	3,919,417
営業利益又は営業損失(△)	47,127	△22,267
営業外収益		
受取利息	269	34
受取配当金	7,149	7,962
受取賃貸料	8,303	29,720
貸倒引当金戻入額	5,240	7,717
雑収入	7,225	6,557
営業外収益合計	28,188	51,991
営業外費用		
支払利息	492	906
賃貸費用	1,988	21,080
雑損失	146	673
営業外費用合計	2,628	22,661
経常利益	72,687	7,063
税引前四半期純利益	72,687	7,063
法人税、住民税及び事業税	10,810	11,778
法人税等調整額	28,765	6,570
法人税等合計	39,576	18,348
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,111	△11,285

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。